日本原子力発電株式会社

敦賀事業本部　敦賀総合研修センター

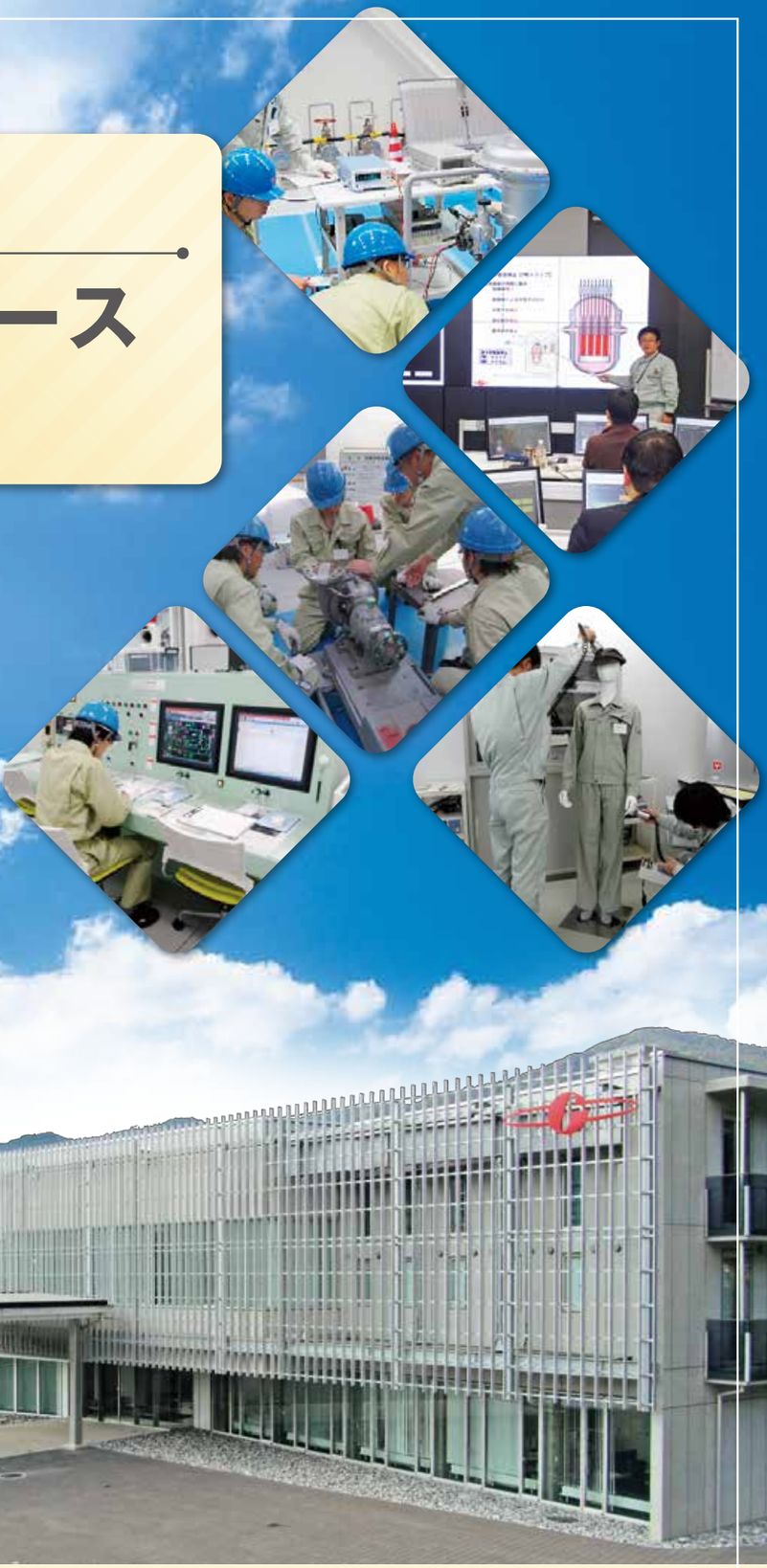
〒914-0823　福井県敦賀市沓見 165 号9番地 6
TEL：0770-21-9700
FAX：0770-21-9726（研修申込み専用）
FAX：0770-21-9725
メールアドレス：tsuruga-tr-center@japc.co.jp
ホームページ：http://www.japc.co.jp/tsuruga-training/
（応募要領はHPからもご覧いただけます）

げんでん　研修　検索

2021.2

2021年度

公開研修コース ご案内



日本原子力発電株式会社　敦賀事業本部 敦賀総合研修センター

ご案内

敦賀総合研修センター（以下、当センター）は、2012年10月の開設当初から原子力施設や人材育成機関が集積している福井県の特徴を活かし、福井県「嶺南Eコースト計画」に協力していくとともに、関連する機関や団体等とも連携し、高度で充実した研修を提供しております。

この研修の一環として、原子力の安全確保の観点から人材育成の更なる充実を図るため、社員研修だけではなく、国内の技術者や学生、また海外からの研修生など、さまざまな方を対象とし、机上研修と実習を組み合わせた体系的な「公開研修コース」を開催しています。

この公開研修コースは、原子力に係る広範囲な知識の習得と技能の向上を図ることを目的として、下記の特徴を有する様々なコースを開催しておりますので、皆様方のお役に立つことができれば幸いです。

なお、遠方からお越しいただく方は、当センターの宿泊施設をご利用いただけます。

日本原子力発電株式会社
敦賀事業本部
敦賀総合研修センター

◎敦賀総合研修センターが実施する公開研修コースの特徴◎

❶ 原子力安全や放射線管理の基礎、あるいは設備保全の基礎などの学習ができます。

❷ 下記のような様々な設備を使い発電所の仕組みや安全確保の重要ポイントを体感、実習により学ぶことができます。

原子力発電教育シミュレータ

解析ソフトを使用し原子力プラントの挙動を模擬することができる「原子力発電教育シミュレータ」

保修訓練設備（ループ設備）

実動するポンプや弁により構成されダイナミックな流体の流れを再現できる設備

安全体感設備

高所・回転体・玉掛け・電気などの作業上に潜む危険を実際に体感できる「安全体感設備」

目 次

● 2021年度における公開研修コース一覧 ····· 1〜8

原子力専門技術	原子力周辺技術
1. 安全文化コース	15. ヒューマンファクターコース
2. 原子力安全基礎コース	16. リスクコミュニケーションコース
3. 確率論的リスク評価コース	17. 根本原因分析手法コース
4. 原子力鋼材コース	18. 労働安全衛生コース
5. 耐震安全コース	19. 現場管理コース
6. 原子炉施設廃止措置コース	20. 低圧開閉装置メンテナンスコース（実習）
7. 原子炉施設廃止措置工事学習コース	21. 無停電電源装置メンテナンスコース（実習）
8. クリアランス入門コース	22. 計測制御装置メンテナンスコース（実習）
9. 原子燃料コース	23. ポンプメンテナンスコース（実習）
10. 原子力エネルギーコース	24. 弁メンテナンスコース（実習）
11. 原子力新技術コース	25. 支持構造物メンテナンスコース（実習）
12. 原子力入門コース	26. 配管補修工法コース（実習）
13. 放射線管理入門コース	27. 溶接技術コース（実習）
14. プラントシミュレータコース（実習）	28. 振動診断コース（実習）
	29. 安全体感コース（実習）

いずれも、日本語によるコースとなっています。

● 研修スケジュール ····· 9〜10

● 施設の概要 ····· 11

● 研修お申込み手続きのご案内・受講申込書

● アクセスマップ ····· 12

【募集コース一覧】

各コースの内容については、弊社ホームページ（http://www.japc.co.jp/tsuruga-training/）　げんでん　研修　検索

公開研修コース		コース概要	カリキュラム	定員注1（人／回）	回数注2	研修開始日	研修期間	申込期限	受講料（円）（消費税別）
❶	安全文化コース	原子力産業界が取り組んでいる安全確保を最優先とする安全文化の醸成について、企業倫理･技術者倫理や不祥事･トラブル事例などを題材として学びます。 原子力利用に携わるすべての組織の方はもちろんのこと、企業による不祥事やトラブル事例が後を絶たない昨今の国内外事情に鑑みて、一般の方への受講もお薦め致します。	【1日目】（PM） （1）安全文化の概念 【2日目】 （2）企業倫理とコンプライアンス・不祥事の防止に向けて （3）技術者倫理とは （4）過去の不祥事・トラブル事例	15〈7〉	① ②	2021/08/25 2022/01/26	1.5 日間 1.5 日間	2021/07/16 2021/12/17	23,000
❷	原子力安全基礎コース	原子力発電所の新しい規制体系、基準を理解するとともに、安全確保の仕組み（安全設計）や事故･トラブル時の評価（安全評価）及び過酷事故時の対策など、原子力の安全に係る事項を学びます。 ＊2日間のコースですが、1日単位の受講も可能です。	【1日目】概論 （1）原子力安全確保の基本的な仕組み （2）原子力安全に関する法令と改正の概要 （3）原子力発電所の安全設計及び安全評価 【2日目】過酷事故対策（AM） （4）過酷事故の概要 （5）原子力発電教育シミュレータを用いた過酷事故事象の観察	15〈7〉	① ② ① ②	2021/07/13 2022/02/01 2021/07/14 2022/02/02	1 日間 0.5 日間	2021/06/03 2021/12/23 2021/06/03 2021/12/23	2 日間 35,000 (1 日目:17,500) (2 日目:17,500)
❸	確率論的リスク評価コース	原子力発電所の事故については、様々な事故の発生頻度を確率論的に求め、そのリスクを評価します。この研修では、この確率論的リスク評価(PRA)の基礎知識や具体的な評価手法を学びます。 なお、受講生は初歩的な原子力発電所の知識を有していることが望ましい。	【1日目】 （1）確率論的リスク評価の概要 （2）リスク情報の活用意義と活用動向及び確率の基礎理論 （3）確率論的リスク評価の手法 【2日目】 （4）PRAツール実習 （5）PRA結果と国内外リスク情報活用事例の紹介	8〈5〉	① ②	2021/07/06 2021/12/01	2 日間 2 日間	2021/05/27 2021/10/22	58,000
❹	原子力鋼材コース	原子力発電所の事故･トラブルでは、使用されている鋼材の性質が重要な意味を持つことがあります。 原子力発電所では色々な鋼材が使われており、主な鋼材の金属的な特徴、機械的な性質、鋼材の耐食性と破壊のメカニズム等を学びます。 なお、受講者は鋼材に関する初歩的な知識を有していることが望ましい。 ＊2日間コースですが、1日単位の受講も可能です。	【1日目】基礎 （1）原子力鋼材の基礎 （2）原子力発電所の構造材料 【2日目】応用 （3）原子力発電所構造材料のふるまい （4）構造材料の破壊健全性評価	15〈7〉	① ② ① ②	2021/08/26 2022/02/15 2021/08/27 2022/02/16	1 日間 1 日間	2021/07/16 2022/01/06 2021/07/16 2022/01/06	2日間 42,000 (1 日目:21,000) (2 日目:21,000)
❺	耐震安全コース	耐震設計の基礎（概論、地震動、規制基準など）、原子力発電所の建築、土木構造物の耐震設計及びポンプ･容器･配管並びに電気盤等の耐震設計を学びます。 なお、受講者は地震･耐震に関する基礎的な知識を有していることが望ましい。	【1日目】耐震基礎、建築･土木構造物の耐震設計及び機電構造物の耐震設計 （1）耐震設計概論 （2）地震・地震動 （3）地震動応答解析／建築の耐震設計 （4）地盤及び斜面の安定性評価／屋外重要土木構造物の耐震 （5）機器等の耐震設計／耐震重要度分類　他 【2日目】機電構造物の耐震設計（続き） （6）機器・配管の耐震設計 （7）地震PSA（確率論的安全評価）の紹介　他	15〈7〉	① ②	2021/07/14 2022/01/13	2 日間 2 日間	2021/06/04 2021/12/03	36,000
❻	原子炉施設廃止措置コース	廃止措置の概要や法制度とともに、廃止措置の基礎となる放射能評価、廃棄物の処理･処分や解体撤去技術など、廃止措置の先行例を含め廃止措置全般について学びます。	【1日目】 （1）廃止措置の概要・制度 （2）放射能評価 （3）廃棄物の処理・処分 （4）解体撤去技術 【2日目】 （5）敦賀発電所1号機廃止措置対象施設見学 （6）廃止措置実務経験者との意見交換	15〈7〉	① ②	2021/08/12 2022/02/24	2 日間 2 日間	2021/07/02 2022/01/14	25,000

注１　〈　〉内は最少開催人数
注２　①②のいずれの回も研修内容は同じです。どちらかをお選びください。

【募集コース一覧】

各コースの内容については、弊社ホームページ（http://www.japc.co.jp/tsuruga-training/）　げんでん　研修　検索

公開研修コース		コース概要	カリキュラム	定員注1（人／回）	回数注2	研修開始日	研修期間	申込期限	受講料（円）（消費税別）
❼	原子炉施設廃止措置工事学習コース	原子力発電所構内において、廃止措置工事に初めて従事する上で必要となる発電所ルールの概要、技量や手法、工事要領検討について講義と実習により学びます。	【1日目】 （1）発電所ルールの概要（講義） 発電所構内ルール、放射線管理、汚染拡大防止、労働安全衛生マネジメントシステム （2）現場作業上必要となる技量・手法（講義/実習） 解体廃棄物の区分、混在防止の重要性、NR／クリアランス　他 （3）工事要領検討（実習） 【2日目】（AM） （4）敦賀発電所1号機廃止措置工事対象施設見学	15〈7〉	① ②	2021/08/17 2022/03/03	1.5日間 1.5日間	2021/07/08 2022/01/21	21,000
❽	クリアランス入門コース	原子炉施設の廃止措置等に伴い、「放射性廃棄物として扱う必要がないもの（クリアランス）」が多く発生します。それらの概念やクリアランス測定方法などクリアランスに関する基本的な知識を学びます。	（1）クリアランスの概念と関係法令、クリアランス対象物の管理方法 （2）クリアランス測定・判断の概要 （3）発電所の専用測定装置を使ったクリアランス測定（見学）	10〈5〉	① ②	2021/07/30 2021/10/29	1日間 1日間	2021/06/18 2021/09/17	22,000
❾	原子燃料コース	原子力発電において使用される原子燃料について、ウラン鉱石の採鉱から使用後の処理、処分までの原子燃料サイクルとともに、原子燃料の取扱上、重要な保障措置や使用済燃料の輸送や貯蔵について学びます。	（1）原子燃料サイクルの概要 （2）BWR／PWR／FBR燃料の設計 （3）保障措置 （4）使用済燃料輸送及び貯蔵対策	30〈15〉	① ②	2021/07/08 2021/12/16	1日間 1日間	2021/05/28 2021/11/05	16,000
❿	原子力エネルギーコース	エネルギー資源を海外に頼っている我が国の現状を理解し、福島第一原子力発電所の事故後の地球温暖化への対応を含めた我が国のエネルギー政策について学びます。	（1）日本のエネルギー政策概要 （2）世界の中の原子力 （3）原子力発電と地球環境問題 （4）原子力発電所の仕組みと安全対策	30〈15〉	① ②	2021/06/10 2022/01/20	1日間 1日間	2021/04/30 2021/12/10	14,000
⓫	原子力新技術コース	原子力発電に係る国内外の情勢と展望、次世代炉の開発動向等について学びます。 なお、受講生は初歩的な原子力発電の知識を有していることが望ましい。	（1）原子力発電を取巻く世界の情勢と今後の展望 （2）現行の発電用原子炉の概要と次世代炉の開発動向	15〈7〉	① ②	2021/06/17 2021/12/14	1日間 1日間	2021/05/07 2021/11/04	19,000
⓬	原子力入門コース	原子炉での核分裂など原子力発電の基本的原理を理解するとともに、原子力発電所で使われる代表的な機械設備と電気設備の概要などを学びます。 核分裂や連鎖反応等、原子力発電の概念を学びたい方にお薦めします。	【1日目】 （1）原子炉物理、燃料の基礎知識や原子力発電所の仕組み （2）原子力発電教育シミュレータによる原子炉出力制御や原子炉緊急停止等の実習 【2日目】 （3）原子力発電所の機械設備と電気設備の概要	12〈7〉	① ②	2021/06/08 2022/01/18	2日間 2日間	2021/04/28 2021/12/09	23,000
⓭	放射線管理入門コース	放射線・放射能に関する基礎知識や各種放射線測定器の原理と測定方法等について、講義と実習により基本的なことを学びます。 なお、受講生は工業高校卒業程度の知識を有していることが望ましい。	（1）放射線・放射能の基礎知識 （2）放射線測定の基礎知識 （3）放射線防護、放射線管理に関する基礎知識 （4）線量当量率の測定実習 （5）表面汚染密度の測定実習 （6）ダスト濃度の測定実習	8〈5〉	① ②	2021/05/28 2021/11/05	1日間 1日間	2021/04/16 2021/09/24	26,000
⓮	プラントシミュレータコース	原子力発電教育シミュレータを用いて、加圧水型軽水炉（PWR）と沸騰水型軽水炉（BWR）を比較しながらプラント起動操作や原子炉出力変更などの運転操作を模擬体験するとともに、原子力発電所の安全確保の仕組みを学びます。 *2日間コースですが、1日単位の受講も可能です。	【1日目】PWR編 （1）PWRの主要系統・設備の概要 （2）原子力発電教育シミュレータによるPWRの原子炉臨界操作、原子炉出力制御、原子炉緊急停止等の実習 【2日目】BWR編 （3）BWRの主要系統・設備の概要 （4）原子力発電教育シミュレータによるBWRの原子炉臨界操作、原子炉出力制御、原子炉緊急停止等の実習	8〈5〉	① ② ① ②	2021/09/09 2021/12/07 2021/09/10 2021/12/08	1日間 1日間	2021/07/30 2021/10/28 2021/07/30 2021/10/28	2日間 54,000 （1日目:27,000） （2日目:27,000）

注1　〈　〉内は最少開催人数
注2　①②のいずれの回も研修内容は同じです。どちらかをお選びください。

【募集コース一覧】

各コースの内容については、弊社ホームページ（http://www.japc.co.jp/tsuruga-training/）　げんでん　研修　検索

公開研修コース		コース概要	カリキュラム	定員注1（人／回）	回数注2	研修開始日	研修期間	申込期限	受講料(円)（消費税別）
⑮	ヒューマンファクターコース	人はエラーを避けられません。人間の特性を知り、仕事の中でのエラーを防ぐ対策を講じることが大事です。本研修ではヒューマンファクターの基礎的知識（人間の基本特性や集団特性等）を理解するとともに、現場作業時のヒューマンエラーの防止方策を学びます。 ヒューマンエラーとは人に起因する誤りのことであり、人為ミスとも呼ばれます。誰もが起こす可能性があるヒューマンエラーの防止方策を学ぶことはとても有益です。広く一般の方にもお薦めします。 *2日間のコースですが、1日単位の受講も可能です。	【1日目】基礎 （1）ヒューマンファクター（HF）とヒューマンエラー（HE）とは？ （2）人間の特性 （3）集団の特性 【2日目】管理・事例 （4）HEを減らすための工夫 （5）管理について （6）安全活動の実際	15〈7〉	① ②	2021/07/26 2022/01/24	1日間	2021/06/16 2021/12/15	2日間 22,000 (1日目:11,000) (2日目:11,000)
					① ②	2021/07/27 2022/01/25	1日間	2021/06/16 2021/12/15	
⑯	リスクコミュニケーションコース	リスクコミュニケーションとは、リスクについて関係者間で情報や意見を交換し、その問題についての理解を深めたり、お互いにより良い決定ができるように合意を目指したりするコミュニケーションを言います。この研修では、講義やロールプレイング（役割演技）、参加者間の意見交換を通じて、リスクコミュニケーションのあり方、方法などを学びます。 原子力広報については、主に当社が実践している事例を用いて説明します。 リスクコミュニケーションや広報は原子力に限った話ではありませんので、その手法を学ぶことはとても有益です。広く一般の方にもお薦めします。講義の一部やロールプレイングは専門家に依頼しています。	【1日目】 （1）リスクコミュニケーションの概要 講義（リスクコミュニケーションとは、リスクコミュニケーションの歴史・目的、リスクとは、原子力に係る動向） （2）原子力広報の概要 講義（歴史的変遷、当社における実践事例） 【2日目】（AM） （3）ロールプレイング（役割演技）	24〈12〉	-	2021/11/11	1.5日間	2021/10/01	17,000
⑰	根本原因分析手法コース	事故やトラブルの原因分析に使われるＳＡＦＥＲ（Systematic Approach For Error Reduction ）を理解し、問題の根本的な原因を明らかにする手法を学びます。 本コースで学ぶ手法は原子力の現場だけでなく、一般産業のあらゆる場面でも活用できます。	【1日目】（PM） （1）根本原因分析概論 （2）不適合事象の時系列作成 【2日目】 （3）不適合事象の問題点の抽出と背後要因図の作成 （4）不適合事象の再発防止対策	15〈7〉	① ②	2021/06/09 2021/11/25	1.5日間 1.5日間	2021/04/30 2021/10/15	45,000
⑱	労働安全衛生コース	従業員や作業員を災害から守るために労働安全衛生法の基礎知識及び安全管理の手法の一つである労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS）について学びます。また、現場作業の危険性を疑似体験することにより安全意識の向上を目指します。 本コースは原子力作業現場に限らず、一般作業現場においても有益な研修です。	【1日目】 （1）労働安全衛生マネジメントシステム（OSHMS） （2）労働安全衛生関係法令 【2日目】 （3）災害事例に基づく原因と対策 （4）安全体感設備を使った高所作業や感電等の危険性の疑似体験	15〈7〉	① ②	2021/07/05 2021/12/06	2日間 2日間	2021/05/26 2021/10/27	21,000
⑲	現場管理コース	現場作業で必要となる労働安全・設備安全を確保するために必要な管理技術について、日常的に実践で役立つ事項及び災害発生時に役立つ対処方法等を学びます。 本コースは原子力作業現場に限らず、一般作業現場においても有益な研修です。	（1）現場管理の基本 （2）工事計画から工事結果の評価まで （3）作業中における監督及び指示の方法 （4）現場管理でのトラブル事例と異常時の措置 （5）教育・指導	15〈7〉	① ②	2021/05/27 2021/10/14	1日間 1日間	2021/04/16 2021/09/03	13,000
⑳	低圧開閉装置メンテナンスコース	発電所や工場等の配電盤に使われている低圧開閉装置の仕組み、動作や点検方法について学びます。	【1日目】 （1）低圧開閉装置に関する基礎知識 （2）配電盤（コントロールセンター）に使われている配線用遮断器、電磁接触器、サーマルリレー等の低圧開閉装置の仕組み、動作や点検方法 【2日目】 （3）配電盤（パワーセンター）に使われている気中遮断器等の低圧開閉装置の仕組み、動作や点検方法	4〈2〉	-	2021/06/16	2日間	2021/05/07	110,000
㉑	無停電電源装置メンテナンスコース	コンピュータやエレクトロニクス機器を落雷・停電による誤動作や停止から守るために設置されている無停電電源装置（UPS）について、システム構成や点検方法などを学びます。	【1日目】 （1）無停電電源装置（UPS）のシステム （2）蓄電池の原理や点検 【2日目】 （3）訓練用無停電電源装置を使った運転操作や点検方法の実習	4〈2〉	-	2021/12/14	2日間	2021/11/04	129,000

注１　〈　〉内は最少開催人数
注２　①②のいずれの回も研修内容は同じです。どちらかをお選びください。

【募集コース一覧】

各コースの内容については、弊社ホームページ（http://www.japc.co.jp/tsuruga-training/）　げんでん　研修　検索

公開研修コース		コース概要	カリキュラム	定員注1（人／回）	回数注2	研修開始日	研修期間	申込期限	受講料（円）（消費税別）
㉒	計測制御装置メンテナンスコース	発電所や工場等で使用されている各種計測制御機器について、原理や構造等を理解するとともに、点検校正の実習や計測制御機器故障の再現などを行い、計測制御保守業務について実践に役立つ基本技能を学びます。 なお、受講生は工業高校卒業程度の知識を有していることが望ましい。	【1日目】 （1）圧力、温度、流量、液位を計測する機器の原理、構造、機能 （2）圧力、温度、流量、液位を計測する機器の点検、校正の実習 【2日目】 （3）自動制御の基礎、デジタル制御機器（コントローラ）を用いた実習 （4）トラブル・不具合事例の紹介及びループ設備を用いた各種計測制御機器に係る故障の対処方法体験	4〈2〉	-	2021/10/28	2日間	2021/09/17	124,000
㉓	ポンプメンテナンスコース	様々なポンプの種類や基本的な構造を学習するとともに、一般的に使用されているポンプを用いて、分解・点検・組立の実習を行い、ポンプを保守する場合の基本的な知識・技能を学びます。	【1日目】 （1）ポンプの原理、種類、構造 （2）ポンプ分解点検作業の実習 【2日目】 （3）ポンプ手入れ作業の実習 （4）ポンプ組立て作業の実習、試運転	4〈2〉	-	2021/11/18	2日間	2021/10/08	184,000
㉔	弁メンテナンスコース	様々な弁の構造、特徴やトラブル事例などを学習するとともに、一般的に使用されている弁を用いて、分解・点検・組立実習を行い、弁を保守点検する場合の基本的な知識・技能を学びます。	【1日目】 （1）各種弁の特徴、構造、機能 （2）弁のトラブル事例 （3）玉形弁の分解・組立実習 【2日目】 （4）仕切弁、逆止弁の分解・点検・組立実習	4〈2〉	-	2021/12/08	2日間	2021/10/29	115,000
㉕	支持構造物メンテナンスコース	様々な支持構造物の構造、特徴やトラブル事例等を学習するとともに、一般的に使用されている油圧防振器を用いて、分解・点検・組立実習を行い、支持構造物を保守点検する場合の基本的な知識・技能を学びます。	【1日目】 （1）各種支持構造物の特徴、構造、機能 （2）支持構造物のトラブル事例 【2日目】 （3）支持構造物（油圧防振器）の分解・組立実習	4〈2〉	-	2021/06/02	2日間	2021/04/23	121,000
㉖	配管補修工法コース	発電所の運転中にも適用できる配管の補修工法について、基準・規格の講義や実習を交え、実践に役立つ基本技能（管理ポイント等）を学びます。	【1日目】 （1）充填材工法の概要（種類、構造、機能等） （2）充填材工法の実習 【2日目】 （3）接着材工法の概要（種類、構造、機能等） （4）接着材工法の実習	4〈2〉	-	2021/10/05	2日間	2021/08/26	180,000
㉗	溶接技術コース	溶接施工の管理能力を向上させるため、溶接技術に関する基本的な知識と実践に役立つ基本技能及び溶接に係るトラブルや不適合事象の事例を学びます。 溶接経験のない方でも基本からお教えします。	【1日目】 （1）各種溶接の施工技術、安全管理、トラブル事例 （2）平板2枚の突合せ被覆アーク溶接の実習 【2日目】 （3）平板上でのTig溶接（Tungsten Inert Gas 溶接）の実習 （4）溶接構造物を模擬した溶接の実習（Tig溶接等）	4〈2〉	-	2021/09/08	2日間	2021/07/30	111,000
㉘	振動診断コース	回転機械の振動診断に必要な基礎知識を習得するとともに、実習を通じて回転機械の振動診断の管理ポイントを学びます。 なお、受講生は工業高校卒業程度の知識を有していることが望ましい。	【1日目】 （1）振動診断の基礎 （2）簡易診断、精密診断の実習 【2日目】 （3）振動発生装置を使用しての実習	4〈2〉	-	2021/10/14	2日間	2021/09/03	107,000
㉙	安全体感コース	高所作業や玉掛け作業、回転体への巻込まれなど作業の危険性や回転体に潜む危険を疑似体験することにより、安全意識の向上と危険回避能力の向上につながります。 原子力発電所に関係する現場の他に一般の工場、工事現場でお仕事をされる全ての方に有益な研修です。	（1）高所作業の危険体感 （2）玉掛け作業の危険体感 （3）補修・点検作業の危険体感 （4）火災の危険体感	10〈5〉	① ②	2021/05/27 2021/11/30	1日間 1日間	2021/04/16 2021/10/21	24,000

注1　〈　〉内は最少開催人数
注2　①②のいずれの回も研修内容は同じです。どちらかをお選びください。

研修スケジュール

［凡例］ 1 ◀募集コース番号
1 ◀複数回の場合の回数順を示す

2021年 4月

木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

5月

土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

- 19-1 現場管理
- 29-1 安全体感
- 13-1 放射線管理入門

6月

火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

- 25 支持構造物メンテナンス
- 12-1 原子力入門
- 10-1 原子力エネルギー
- 17-1 根本原因分析手法
- 20 低圧開閉装置メンテナンス
- 11-1 原子力新技術

7月

木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

- 18-1 労働安全衛生
- 3-1 確率論的リスク評価
- 9-1 原子燃料
- 2-1 原子力安全基礎
- 5-1 耐震安全
- 15-1 ヒューマンファクター
- 8-1 クリアランス入門

8月

日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

- 6-1 原子炉施設廃止措置
- 7-1 原子炉施設廃止措置工事学習
- 1-1 安全文化
- 4-1 原子力鋼材

9月

水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

- 27 溶接技術
- 14-1 プラントシミュレータ

10月

金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

- 26 配管補修工法
- 19-2 現場管理
- 28 振動診断
- 22 計測制御装置メンテナンス
- 8-2 クリアランス入門

11月

月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30

- 13-2 放射線管理入門
- 16 リスクコミュニケーション
- 23 ポンプメンテナンス
- 17-2 根本原因分析手法
- 29-2 安全体感

12月

水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

- 3-2 確率論的リスク評価
- 18-2 労働安全衛生
- 24 弁メンテナンス
- 14-2 プラントシミュレータ
- 11-2 原子力新技術
- 21 無停電電源装置メンテナンス
- 9-2 原子燃料

2022年 1月

土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

- 5-2 耐震安全
- 12-2 原子力入門
- 10-2 原子力エネルギー
- 15-2 ヒューマンファクター
- 1-2 安全文化

2月

火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28

- 2-2 原子力安全基礎
- 4-2 原子力鋼材
- 6-2 原子炉施設廃止措置

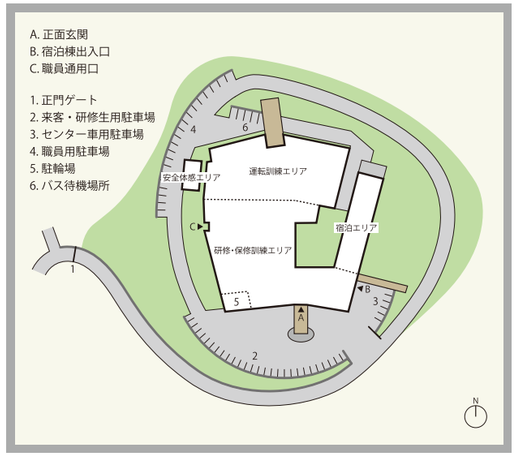
3月

火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木
1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31

- 7-2 原子炉施設廃止措置工事学習

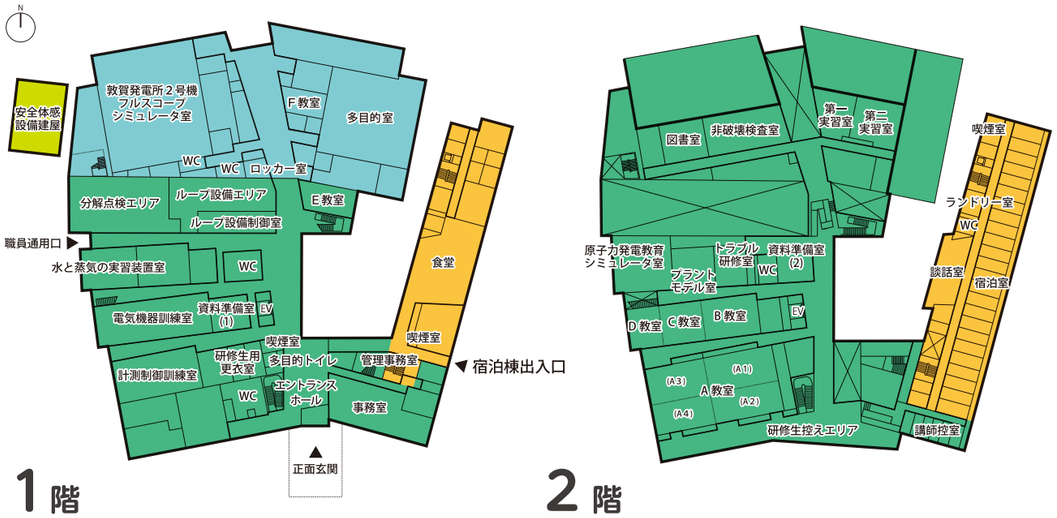
敦賀総合研修センター

施設の概要

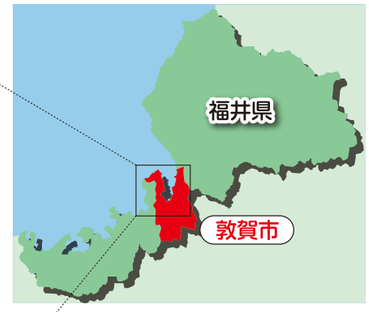


開設	2012年10月1日
所在地	福井県敦賀市沓見165号9番地6
敷地面積	28,556㎡
建物構造	鉄筋コンクリート造一部鉄筋鉄骨コンクリート造、鉄骨造　2階建(一部3階建)
建物床総面積	約　8,900㎡
主要施設	運転訓練エリア　(約1,900㎡)
	研修・保修訓練エリア　(約5,300㎡)
	安全体感エリア　(約　100㎡)
	宿泊エリア　(約1,600㎡)

建物配置図



アクセスマップ



Access

- JR 敦賀駅よりタクシーで約 15 分
- 北陸自動車道敦賀 I.C. より車で約 20 分
- コミュニティーバス
  JR 敦賀駅より沓見行→沓見バス停下車
  →徒歩約 15 分